

# KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]



**特集**

*Special*

世界市民を育む、学びがある。

## 2つのチャレンジで 自分を高める! ダブルチャレンジ制度

数字でみる関学

関西学院大学SNSあれこれ

突撃!KG CLUB

体育会 航空部

2016.10.17  
253号



# 学長の ポケット レポート

## 異なった分野へのチャレンジ

関西学院の創設者であるW.R.ランバス先生は、晩年にMedical Mission: The Twofold Task という本を書かれました。The Twofold Taskは医療と宣教の「二重の任務」という意味であり、ランバス先生は科学とキリスト教という異なった二つの分野を同時に追求されました。

この科学とキリスト教の枠を超えて異なった分野を同時に追求する姿勢はその後受け継がれ、本学の大きな特色である学部間の垣根の低さへと繋がっています。さらに、学部間の垣根が低いという特長は、1997年からの複数分野専攻制度や2005年度から始められた最短4年で二つの学位が取得できるMultiple Degree 制度へと結実していきます。

このような流れを汲んで、関西学院大学では、スーパーグローバル大学創成支援事業の基本的な教育システムとしてダブルチャレンジ制度を設けています。これは、皆さんが入学した学部での勉強以外に、インターナショナルプログラム、ハンズオン・ラーニング・プログラム、副専攻プログラムのいずれかにチャレンジする制度であり、言い換えれば、二つ以上の異なった分野に同時にチャレンジする制度です。

実は、異なった分野に同時にチャレンジすることによって、この激動の世界で必要となる創造性やイノベーション能力が育まれます。逆に言いますと、異なった分野の知識や関心が結びついたときにしか、創造性やイノベーション能力は生じないのです。その意味で、本学のダブルチャレンジ制度は、学生の皆さんに創造性やイノベーション能力をつけてもらうための仕組みであると言えます。皆さんも、ランバス先生が求められたThe Twofold Task「二重の任務」を是非とも追求してってください。

(学長・村田 治)

### 表紙へ

( 小野寺 天汰さん )  
商学部2年生



5月に大阪で開かれた「第3回全日本フルコンタクト空手道選手権大会」男子中量級で準優勝し、来年7月にカザフスタンで開かれる「全世界ウエイト制空手道選手権大会」の日本代表に選ばれた。

フルコンタクト空手は、一切の防具を着用せず、手による顔面攻撃以外の攻撃が認められている激しい競技。「大会によってルールや対戦できる相手が違う。できるだけ多くの大会に出て経験を積もうと思った」と国内外を問わず多くの大会に出場し、優勝も経験した。しかし、4月に東京で開かれた大会で右膝半月板を損傷。今大会に出場するか迷ったが、「世界大会への出場がかかっていたし、勝てる自信もあった」とエントリーを決意。ど

んな状況や相手でも戦えるようにと磨いてきた「引き出しの多いスタイル」と、各大会を通して得た「自信」で決勝へ進んだ。「流派によっていろいろ大会があるため、真のチャンピオンがない」という空手の世界。「これからも多くの大会に出て優勝したい。そうすれば、大会ごとの細かいルールなど関係なく、小野寺が一番強いと言われるようになる。来年の世界大会も優勝以外は考えていない」と闘志を燃やす。

# KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

## C O N T E N T S

No. 253

- 1 学長のポケット  
表紙人
- 2 特集  
世界市民を育む、学びがある。  
2つのチャレンジで自分を高める!  
ダブルチャレンジ制度
- 9 就職の窓  
年内の準備・対策で大きな差がつく!  
計画的に進めよう  
シューカツに勝つ
- 11 ひととひと
- 13 Research & Research  
社会学部 大岡 栄美ゼミ  
理工学部 松浦 周二研究室
- 15 突撃! KG CLUB  
体育会 航空部
- 17 My favorite KG  
パホモヴス ドミトリスさん  
(ラトビア)  
Go Global!  
小山 由真さん(国際学部3年生)
- 18 数字でみる関学  
関西学院大学SNSあれこれ
- 19 Campus News  
関学カプセル  
学院通信
- 24 世界の街角から  
ドイツ 島田 佐知さん
- 25 Libraring  
大学図書館の閲覧機がリニューアル!
- 26 聖書に聞く  
神学部准教授・宗教センター宗教主宰  
ジェフリー メンセンディーク

# 特集

Special

世界市民を育む、学びがある。

## 2つのチャレンジで 自分を高める! ダブルチャレンジ制度

「ダブルチャレンジ制度」とは、学部や専攻での学び(ホームチャレンジ)に加えて、もう一つの学び(アウェイチャレンジ)に挑戦する制度です。

アウェイチャレンジには「インターナショナル」(留学等の国際交流)、

「ハンズオン・ラーニング」(社会での実践型学習)、

「副専攻」(他学部での体系的な学び)の3プログラムがあり、これらを通して、

グローバル社会で活躍するために必要な「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を高めます。

実際に制度を活用した学生の声や姿から、その魅力や成果を探ります。

# 1

Challenge

### インターナショナル プログラム

アウェイ  
チャレンジ!



日本を出て、  
世界を知る

# 2

Challenge

### ハンズオン・ラーニング・ プログラム(実践型学習)

アウェイ  
チャレンジ!



キャンパスを出て、  
実社会を経験する

### ホーム チャレンジ

各学部・専攻での  
学び

# 3

Challenge

### 副専攻 プログラム

アウェイ  
チャレンジ!



学部を出て、  
他分野を学ぶ

# インターナショナルプログラム

## 学部で学ぶ + 海外で学ぶ

インターナショナルプログラムは、「日本を出て、世界を知る」ためのプログラムです。ホームチャレンジである所属する学部での学びに加えて、アウェイチャレンジとして協定大学への留学や海外学生との交流セミナー、海外でのボランティアやフィールドワークなどに挑戦し、国際的経験を積むことでグローバルな舞台で活躍するために必要な能力を磨きます。

### 海外の大学で学ぶ(留学プログラム)

全学科目	学部独自科目	
<b>国際教育・協力センター (CIEC)</b>	<b>社会学部、経済学部、商学部、国際学部</b>	<b>人間福祉学部</b>
▶ 交換留学、認定留学	▶ ダブルディグリー留学	▶ 社会起業英語中期留学
▶ 英語中期留学	<b>文学部</b>	<b>国際学部</b>
▶ フランス語中期留学	▶ ドイツ語中期留学	▶ 英語中期留学
▶ 外国語研修 (英語、中国語、朝鮮語、スペイン語)	<b>法学部</b>	▶ 中国語中期留学
▶ CCC Cross-Cultural Workshop	▶ 中国人民大学法学院交換留学プログラム	▶ 朝鮮語中期留学
▶ CCC Field Study in Canadian Business	<b>商学部</b>	
<b>言語教育研究センター</b>	▶ ビジネスに活かせる海外短期留学	
▶ フランス語海外研修	<b>理工学部</b>	
▶ ドイツ語海外研修	▶ 科学技術英語実習(UCデビス校)	

### 海外の学生と共に学ぶ(融合プログラム)

全学科目	学部独自科目
<b>国際教育・協力センター (CIEC)</b>	<b>神学部</b>
▶ CCC Global Internship in Japan	▶ Theology in Dialogue
▶ CCC Global Career Seminar in Canada/Japan	<b>社会学部</b>
▶ インドネシア交流セミナー	▶ 比較社会演習A

### 海外のフィールドで学ぶ(国際ボランティア・フィールドスタディプログラム)

全学科目	学部独自科目	
<b>国際教育・協力センター (CIEC)</b>	<b>法学部</b>	▶ 社会起業インターンシップ(国内・海外)
▶ 国連ユースボランティア	▶ 法学・政治学グローバル演習A・B・C・D	▶ ソーシャルワーク・インターンシップ
▶ 国際社会貢献活動	▶ 海外フィールドワーク演習A・B・C・D	▶ 福祉社会フィールドワーク
▶ 国連セミナー	<b>理工学部</b>	▶ 人間科学フィールドワーク
▶ 米国ワシントンセンターインターンシップ	▶ 臨海実験(バリ島)	<b>教育学部</b>
▶ 中期海外インターンシップ	<b>総合政策学部</b>	▶ 海外ボランティア実習
▶ 短期海外インターンシップ	▶ ソノマ州立大学英語研修&フィールドワーク	<b>国際学部</b>
▶ 海外フィールドワーク	<b>人間福祉学部</b>	▶ Introduction to ASEAN: Society, Economy, and Politics B
	▶ 社会起業フィールドワーク(海外)	



## 困難から逃げ出さず 学位を取得したことが自信に

2年生の8月から約1年間、フランス北部のリール大学に留学。英語での正規プログラムを終えて学位を取得しました。2018年3月に関西学院大学を卒業し、2つの学位を取得する予定です。

高校の時から英語が好きで、よく勉強していましたが、実際に英語を使う機会は少なかったので、大学では留学をしたいという思いがありました。当時、ダブルディグリー制度が新たに創設され、両大学の学位取得という結果が見えることに引かれて、制度を活用したいと思いました。

リール大学での授業は1コマ2時間から2時間半、全て英語で行われます。最初は英語が聞き取れても授業の内容が難しく、ついていくことに精いっぱいでした。授業は午前10時からだったので、朝に予習・復習をして臨みました。課題が多い日は、授業を終えてから図書館や寮に行き、課題に取り組みました。寮に住んでいる学生の多くはEU圏の国から来ていて、彼らとの会話は全て英語でしていました。そのため、英語力はかなり伸びたと思います。もちろん、学校と寮以外の生活ではフランス語を使うため、苦勞することも多かったです。銀行で口座を開設する時は、フランス語の辞書を片手に銀行員と話したことを覚えています。しかし、帰国するころには簡単な日常会話であれば、フランス語でも問題なくできるようになりました。

今回の経験を通して、語学力はもちろん、精神的に強くなったと思います。リール大学のプログラムでは受ける科目が決まっており、「自分に合わないから」「苦手だから」という理由で他の科目の単位を修得することはできません。苦手な上に英語で行われる授業は大変ではありましたが、そこから逃げずに単位を修得し、学位取得という目に見える結果を残せたことは自信になりました。

今後についてはまだ決まっていませんが、大学院に進んで学びを深めたいという気持ちと、就職して働きたいという気持ちの両方があります。どちらに行くにしてもグローバルに活躍できる人になりたいと思います。



経済学部3年生  
田中 陽子さん

インターナショナルプログラム  
ダブルディグリー制度活用

## ハンズオン・ラーニング・プログラム

### 学部で学ぶ + 実社会で学ぶ

ハンズオン・ラーニング・プログラムは、「キャンパスを出て、実社会を経験する」ためのプログラムです。ホームチャレンジである所属する学部での学びに加えて、アウェイチャレンジとして行政機関や企業などでのインターンシップや、専門分野におけるフィールドワークなどに参加し、実践的・体験的な学習を通じて自らを鍛えます。

全学科目
<b>キャリアセンター</b>
▶ インターンシップ実習
▶ キャリアゼミ
▶ 霞が関セミナー
▶ KGワークラボ(企業会計編)
<b>共通教育センター</b>
▶ 社会連携プロジェクト
▶ 平和学特別演習「ヒロシマ」
▶ 社会探究実習I・II(広島・江田島平和FW)
▶ 社会探究実習I・II (瀬戸内海・豊島環境FW)
▶ PBL特別演習001(福島から原発を考える)

学部独自科目	
<b>神学部</b>	▶ 総合政策課題研究(白山麓実習)
▶ キリスト教社会実習	▶ 都市政策演習 (有馬富士公園管理プロジェクト)
▶ キリスト教と社会A・B	▶ 都市政策演習 (都市と建築空間フィールドスタディ)
<b>文学部</b>	▶ 都市財政論 (西脇市都市経営フィールドワーク)
▶ 美学芸術学基礎実習	<b>人間福祉学部</b>
▶ 地理学地域文化学実習A・B	▶ ソーシャルワーク実習
▶ エクスカーションI・II	▶ 精神保健福祉援助実習
▶ 心理臨床学実習	▶ 社会起業フィールドワーク(国内)
▶ 日本文学特殊講義5(神戸文学館)	▶ 社会起業インターンシップ(国内・海外)
<b>社会学部</b>	▶ ソーシャルワーク・インターンシップ
▶ 社会調査実習I・II	▶ 医療ソーシャルワーク・インターンシップ
<b>法学部</b>	▶ 社会起業アドバンスト・インターンシップ
▶ 国内フィールドワーク演習A・B・C・D	▶ 学校ソーシャルワーク実習
▶ 地域インターンシップ実習	▶ 福祉社会フィールドワーク
▶ 議員インターンシップ実習	▶ 人間科学フィールドワーク
<b>経済学部</b>	▶ 社会起業プラクティス
▶ キャリアワークショップ	▶ 野外教育指導実習I
▶ 地域インターンシップ実習	<b>教育学部</b>
<b>商学部</b>	▶ ボランティア実習
▶ ビジネスプロジェクト	▶ 体験実習
<b>理工学部</b>	▶ 実地教育研究
▶ 臨海実験(国内)	▶ 児童生徒支援ボランティア実習
▶ 地学実験A	▶ 課題研究実習
▶ 地球環境科学実験	<b>国際学部</b>
<b>総合政策学部</b>	▶ ビジネスリーダーシップ・コーチングII
▶ 里山実習	
▶ 総合政策演習(白山麓実習)	
▶ 都市政策演習(柏原まちづくりプロジェクト)	



も多い中、それぞれに考えたことは多く、貴重な経験を積んだようです。「旅行が好きで、授業で島に行けるなら」と参加した増田さんは、住民の話から自分の考えをまとめても、先生からは切り返されてばかりだったそうです。「考えること、問い直すことを肌で感じ、普段できないことが体験できました。1、2年生の時に参加できればよかった」と話します。佐伯さんは「一方的に聞くだけではなく、知らない人から話を聞いて、自分の意見をまとめる。そんな作業を通じて、今まで受けた中で絶対に忘れられない授業になりました」と振り返っています。

ハンズオン・ラーニング科目としては今後、同じ豊島でのフィールドワークが来年2月にあるほか、福島を訪ねて原発やエネルギーの問題を考えるPBL特別演習「福島から原発を考える」(10~12月)、広島県の江田島に出かける社会探究実習(来年2月~3月)も予定されています。

## 社会探究実習(瀬戸内海・豊島環境FW)

# 香川県・豊島で 学生7人が住民に聞き取り調査



①町議会議員に話を聞く学生たち  
②家浦地区で住民に聞く増田さん  
③甲生地区の古民家を訪ねた佐伯さんら ④町議会議員を囲んで。後列右端は担当の木本浩一教授  
⑤朝食と夕食はスタッフも交えてにぎやかに ⑥唐櫃地区の雑貨店で話を聞く藤原さんら ⑦海沿いに広がる棚田。休耕田も目立つ⑧集会所で地域のことを尋ねる辻本さんら



8月、瀬戸内海に浮かぶ豊島(香川県土庄町)で行われ、社会・法・人間福祉各学部の1年生から3年生、計7人が受講。猛暑の中、6日間、集落を訪ね歩き、島の人々の話に耳を傾けました。

豊島は、関西などから産業廃棄物が大量に不法投棄されて問題となり、住民が運動を通じた公害調停で全面撤去を勝ち取ったことで知られます。今は瀬戸内国際芸術祭で脚光を浴び、観光客も押し寄せていますが、人口減少、空き家や耕作放棄地の増大といった過疎地域に共通する問題を抱えています。受講生は、産廃問題に関する本2冊を事前に読み込み、3回の事前学習に臨んだ上で現地実習に参加しました。

学生たちは2~3人に分かれて3地区に入りました。事前に約束した町内会長らに加え、アボナシの飛び込みで住民に話を聞いて回りました。4日目には住民を招いて報告会を開き、

9月には学内でも成果報告会を開きました。

フェリーが発着する家浦地区を歩いたのは、増田絢菜さん(社会学部3年生)と吉原和毅さん(法学部3年生)、石倉柚季さん(社会学部2年生)。産廃が投棄された地区でもあります。吉原さんは「産廃は絶対駄目という思いで島全体がまとまっていたのかと思っていましたが、一枚岩ではないことも分かりました。ただ、住民の本当の気持ちを聞き出すのは難しいと思いました」。増田さんは「後世のために、という高齢の方の言葉に特に強い思いを感じました」と話しました。一方で、石倉さんは「移住したい人がいるのに、他人に貸さない空き家が多い。この矛盾を何とかできないかと感じました」と振り返っています。

漁業に従事する人が多い唐櫃地区を訪ねた藤原菜子さん(人間福祉学部3年生)と今井友里愛さん(同1年生)は、商店の軒先や観光客向けのカフェなどで話を聞きました。藤

原さんは「島の全員が知り合いみたいで、人と人との距離が近いと思いました」、今井さんは「島の人は産廃の事件を乗り越え、世の中を変えたという誇りを持っているように感じました」と話しました。

田畑が広がり過疎が最も進む甲生地区を巡ったのは、佐伯なつみさん(社会学部3年生)と辻本果歩さん(人間福祉学部1年生)。芸術祭絡みで移り住んだ人からも話を聞き、佐伯さんは「地元の人と移住者の思いに溝を感じました」、辻本さんは「移住希望者が空き家を借りられない現実があり、島の活性化といっても難しいのでは」と話しました。報告会で2人は、移住希望者の空き家を見つけるための方策を盛り込んだ「おいでよ豊島へプロジェクト」という構想を発表しました。

豊島の産廃問題のことは知らなかったという7人。瀬戸内国際芸術祭の夏期間にちょうど重なり、自転車に乗って島を巡る外国人ら

# Challenge 3

## 副専攻プログラム

### 学部で学ぶ + 他分野で学ぶ

副専攻プログラムは、「学部を出て、他分野を学ぶ」ためのプログラムです。ホームチャレンジである所属する学部での学びに加えて、アウェイチャレンジとして他学部が提供する一定の体系づけられたプログラムを履修します。所属する学部と他学部での学びを深め、2つの分野の専門性を高めます。

※理工学部生はこのプログラムを履修することはできません。※総合政策学部生は全学プログラムのうち、複数分野専攻制特別プログラム(CCS)のみ履修可能です。

全学プログラム
国際教育・協力センター(CIEC)
▶ 複数分野専攻制特別プログラム(CCS) ※2016年度以降入学生は募集停止
各学部、言語教育研究センター
▶ 複数分野専攻制プログラム

学部独自プログラム
文学部
▶ 文学部内副専攻プログラム
総合政策学部
▶ 建築士プログラム
▶ 社会調査士
▶ グローバルキャリアプログラム(GcaP)

## 他学部が提供する体系的なカリキュラムを履修

複数分野専攻制—Multidisciplinary Studies(以下MS)とは、自分が所属する学部で主に学習をしながら、他学部が提供するプログラムを履修することができる制度です。通常の他学部履修とは異なり、各学部が提供するプログラムは一定のまとまりを持っているため、一つの領域として順を追って学習することが可能になり、

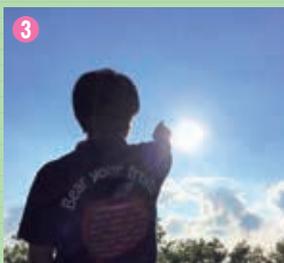
その分野に関して幅広い知識と深い学びを身につけることができます。MSにおいて各学部から提供されるプログラムは、2~3年間で約40単位を修得することによって修了となります。プログラム修了者には、卒業時に、卒業証書の他に独自の修了証書が与えられます。

## 最短4年間で2学部を卒業！マルチプル・ディグリー制度

マルチプル・ディグリー制度とは、MSを利用することで、2つの学部を卒業(2つの学位を取得)することができる制度です。つまり「A学部在学中にB学部提供のMSプログラムを履修し、1つ目のA学部を卒業、その後B学部編入学制度で入学し、A学部在

学中に修得した単位の一部とB学部提供のMSプログラムで修得した単位についてB学部で認定を受け、B学部卒業要件の残りの単位を修得して2つ目のB学部を卒業する」ということが可能になります。

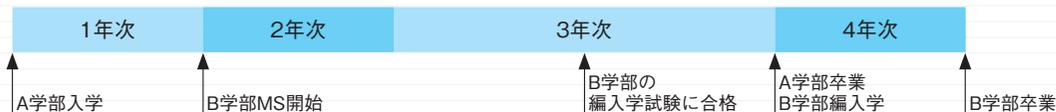
※制度利用などについては学部により異なります。詳細は、教務機構事務部または学部事務室へ。



①1年生の時の初めてのディバートの様子  
②部活動引退時にディバート部門のメンバーと  
③夏合宿で訪れた長野で

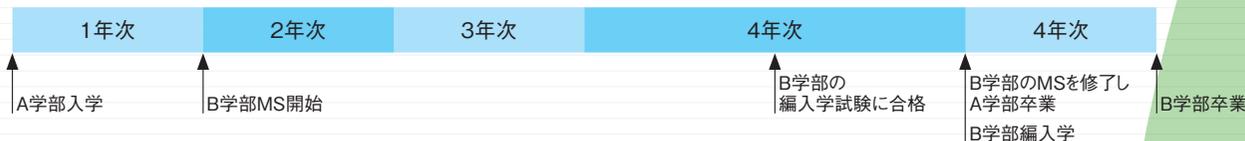
## 副専攻プログラムモデルケース

### 4年のケース(最短)「早期卒業」と「4年次編入」の併用



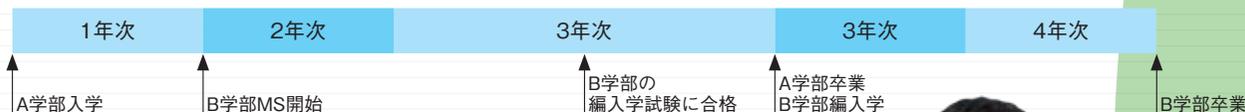
A学部…社会・法・経済・人間福祉・国際学部が該当。1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年で卒業。  
B学部…神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

### 5年のケース(1)「通常卒業」と「4年次編入」の併用



A学部…神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際学部が該当。1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムも合わせて修了し、4年で卒業。  
B学部…神・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

### 5年のケース(2)「早期卒業」と「通常(3年次)編入」の併用



A学部…社会・法・経済・人間福祉・国際学部が該当。1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年で卒業。  
B学部…文・社会・経済・国際学部が該当。B学部3年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を2年間で修得して卒業。

## やると決めたらとことん 休みなしだが充実した4年間

副専攻プログラムの一つである、マルチプル・ディグリー制度を活用して4年間で経済学部と法学部の2つの学位の取得を目指しています。

入学した時から「大学の4年間は自由に使える時間。やれるだけやりたい」という気持ちがありました。1年生の時に、たまたま副専攻プログラムのチラシを見て興味を持ち、挑戦したいと思いました。大学時代に「留学に行く」という話はよく聞きますが、「2学位を取る」という話はあまり聞いたことがなく、単純に面白そうだと感じました。

1年次に、経済学部の授業を年間で48単位履修。2年生からは、マルチプル・ディグリー制度による特別措置で1学期に30単位の履修が可能になるため、2・3年次は経済学部と法学部の授業を合わせて年間60単位を履修しました。4年間で2学位を取得するためには3年次終了時に経済学部を卒業しなくてはならず、その条件は全ての科目で80点以上を取るといった難しいものでした。英語研究部(E.S.S.)でも役員を務めていたため、テスト対策と部活動で2・3年次はほとんど休みなしで動いていたと思います。大変ではありましたが、3年次終了時に経済学部を卒業することができました。4年生の春学期は、就職活動と28単位分の授業があり、体力的にも精神的にも強くなれたと思います。就職活動では、「学生時代に頑張ったこと」をよく聞かれましたが、私は胸を張って「2学位取得」と答えました。

このプログラムを通して、「やると決めたらとことんやる」ことの大切さを学びました。大変でしたが、振り返れば、とても充実していました。やり切ったことで自信もつきました。もし今、何かに迷っている人がいるなら、ぜひ挑戦してほしいです。そして、最後までやり切ってほしいと思います。そうすることで、誰にも負けないものが身につくと思います。



法学部4年生  
(2016年経済学部卒)  
**大畑 英之さん**  
副専攻プログラム  
マルチプル・ディグリー制度活用

## 業界・企業・職種研究

### 業界研究セミナー

各業界を代表する企業を招き、業界の特色やビジネスモデル、働き方や仕事のやりがいなどについてお話しいたします。今後、志望業界・職種を考えていくにあたって、大変貴重な情報収集の機会です。この時期に多くの業界についての理解を深めておくことで、自分自身がやりたい仕事のイメージがしやすくなります。少なくとも5つ以上の業界に参加し、早い段階で視野を広げましょう。

【西宮上ヶ原】  
11月11日(金)～12月16日(金)

【神戸三田】  
11月10日(木)～12月15日(木)

就職の窓

3年生・  
M1年生へ

## 2 筆記試験対策

筆記試験は、面接試験に進むための登竜門となる非常に重要なステップです。何度も対策して解き方のコツを理解すれば点数は必ずUPします。早めに対策を始めましょう。

### SMART SPI

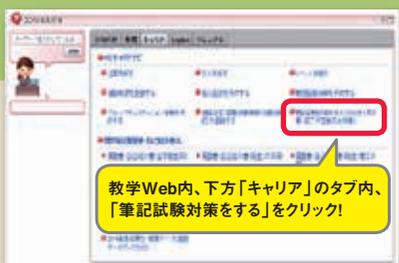
SMART SPIとは、筆記試験対策学習教材です。関学生であれば無料で活用できます。関学生が多くエントリーする企業が導入している筆記試験の概要解説・演習問題に加え、さまざまな種類の模擬試験を受検することができます。

### 筆記試験対策システム「SMART SPI」(文理共通)

#### ログイン方法

- 1…教学Webのメインメニューで「筆記試験対策をする」をクリック。
- 2…(初回のみ：パスワード申請が必要)「パスワード申請」をクリック。パスワード申請の画面に遷移するので、表示される手順でユーザーIDとパスワードを取得する。
- 3…「LOGIN⇒SPI対策はこちらから!」をクリック。画面の案内に従いログインする。

※「SMART SPI」のID・パスワードは教学Webへ入るためのID・パスワードとは異なります。



自分の特徴や強みを生かせる企業や自分の夢を実現できる仕事を探してみましょう。

関西学院大学には年間を通じて約1万件の求人票が届いています。今年は昨年に引き続き企業の採用意欲が高く、現時点でも優良企業からの求人が多数届いています。採用

活動を卒業前の3月まで継続する企業もあり、実際に毎年多くの先輩たちが卒業前に内定を得ています。「関学生を採用したい」という企業が多くありますので、「KGキャリアナビ」で新着求人随時確認してください。個人面談を有効活用しながら、決して諦めず活動を進めていきましょう!

「KGキャリアナビ」(教学Webサービス「キャリア」タブ内)、またはキャリアセンターで確認してください。

# 年内の準備・対策で 大きな差がつく! 計画的に進めよう

いよいよ10月から、3年生とM1年生を対象に「業界研究セミナー」や「面接対策」に関するガイダンスなど、キャリアセンター主催の就職サポートプログラムが実施されます。また、キャリアアドバイザーと1対1で行う個人面談も始まります。就職活動は早くから計画的に準備を進めていくことが大切です。企業の広報活動やプレエントリーなどが始まる2017年3月の本格解禁に向け、各プログラムを有効活用しながら対策していきましょう!

## シューカツに勝つ 先輩の就職活動



住友林業株式会社  
宮本 弘平さん  
(2012年人間福祉学部卒)

「社会人になったら何を目指しますか?」。就活を始める皆さんに意識してほしいことは、この一言に尽きます。この問いをことごとく追求し、自分の言葉で胸を張って表現できれば、必要とされる環境に巡り合えます。この問いを形にするため、ちょっとした心構えを2つお伝えします。

### 【思い立ったらすぐ行動!】

自分の夢や目標は自分が一番分かっているはず。「やってみようかな」と思ったことはすぐに行動してください。失敗しても大丈夫。失敗したらそれを生かして次に進めばいいだけです。私は4年半住宅の営業をしましたが、うまくいくことより失敗の方が多です。しかしその失敗がなければ絶対に今の自分はいません。最初的小さな勇気と行動がなければ、何も始まりません。自分で考え、行動し、得たものをどう感じて、これからどうしたいかという体験が、自分のビジョンや使命感につながります。

### 【たくさんの人に会ってください!】

相手を納得させる表現をするには、自分の言葉で伝えることが大前提。マニュアルに頼る気持ちは早く捨てましょう。そのためには、生の声を聞くことが大切です。私には、今の仕事を志した出会いがありました。「仕事を頑張るほど、家族が増えていく仕事だよ」。これは関学OBの方から頂いた言葉です。この感覚で仕事をしたいと思いました。今の私の仕事は、人生最大の買い物といえるマイホームをらせていただくことで、そのために日々、奮闘しています。お客様から「頼んだよ」と信頼を頂いた喜びは、次も頑張れる原動力になっています。

最後に、関学には「Mastery for Service」という素敵なスクールモットーがあります。私は社会のため、誰かのために頑張る時に、一番パワーが湧き、ワクワクします。就活で困ったら、ぜひ先輩たちに声をかけてみてください。先輩たちは必ず、先輩の皆さんの力になってくれます。

## 官庁・自治体による公務研究セミナー

国や地方自治体などで実際に働いている公務員の方々から、業務内容や仕事のやりがいなどについてお話しいただけます。毎年関学生からの志願者が多い官庁・自治体をお招きして開催しますので、公務員に興味がある人は参加しましょう。

【西宮上ヶ原】  
11月・2月に開催

## 業界・仕事研究セミナー

3月から始まる企業説明会への参加やエントリーを前に、あらかじめ各業界の企業についてのセミナーを行います。企業研究の方法や実際に働く方々から仕事内容を伺う機会をはじめ、さまざまなセミナーを開催する予定です。

【西宮上ヶ原】  
2月に開催予定

# 3 面接対策

採用選考プロセスにおいて企業が最も重要視しているのが面接試験です。面接スタイルもさまざまです。実際に体験し、練習を重ねておきましょう。

## 第3回キャリアガイダンス 「面接対策～採用担当者の視点を知ろう～」

採用選考で最も大切な「面接」。採用担当者が求めていることを知れば、面接で伝えるポイントがわかります! 大手企業の採用担当者をお招きし、面接試験における評価項目や求める人材などについて説明いただけます。業界研究の方法についても紹介します。

文系

【西宮上ヶ原】  
11月22日(火)・24日(木)  
【神戸三田】  
11月22日(火)

理工系

【神戸三田】  
11月9日(水)

## 個人面談

事前予約制で1日1回40分間、経験豊富なキャリアアドバイザーが1対1で相談に応じます。年内は特に履歴書・自己紹介書完成を目的として面談を実施します。その他、就職活動に関する相談はカウンターでも受け付けています。

10月18日(火)～  
※予約は、10月11日(水)以降  
面談当日7日前10時より

## 面接トレーニング【体験編】 (集団面接編、グループディスカッション編、マナー講座)

就職活動で自分を最もPRできるのが面接試験です。実際に体験し、講師のフィードバックを受けることにより課題を把握し、本番までに克服しておきましょう。マナー対策についてもお伝えします。

12月以降開催

## 就職活動を 続けている 4年生・ M2年生へ

**現** 在もキャリアセンターには、4年生・M2年生を対象とした求人多数届いています。第1志望の企業から内定を得ることができず就職活動への意欲が下がってしまった人もいるかもしれません。しかし、これを契機にどのような仕事したいのかをあらためて問い直す機会でもあります。

※各プログラムの時間、場所など詳細については、

## 約400人との出会いを一冊に 人の魅力や温かさを伝える

### 加藤 雄太さん

経済学部3年生



### 神

戸の街で声をかけた初対面のひととの出会いをまとめた本「HAZIME-MASHITE」を6月に出版した。老若男女や国籍を問わず、神戸で暮らす人々の自然な表情や生き様を描いている。出版の資金は、クラウドファンディングで集めた。

きっかけは大学2年生の時。もともと初めて会った人と話すことが好きで、先輩から「毎日知らん人に話しかけてみたら」と言われて活動を決意。昨年5月から、出会った人の写真や会話内容をSNSに投稿し始めた。

高齢者、店主、ホームレスなど、普段は接することの少ない人々



にもたくさん声をかけた。「個人の人生や価値観を聞けば聞くほど、想像を超える人の魅力や温かさを感じた。それを自分なりにどんどん表現したくなった」。約半年で1500人以上と会話し、許可を得た約400人を紹介した。8月、9月に巡った東南アジア6カ国でも約500人に声をかけた。今は2冊目の発行を目標に原稿をまとめている。「本気でやれば何でも実現できると感じた。今後も国内や世界を巡り、一人ひとり違う魅力や温かさを伝えられる活動をしていきたい」と満面の笑みを浮かべた。

「HAZIME-MASHITE」は関西学院大学生協で販売中  
Instagram [https://www.instagram.com/hazime\\_mashite/](https://www.instagram.com/hazime_mashite/)

勉強に、スポーツに、趣味に—。  
さまざまな分野で一生懸命に頑張るKGビープル。  
きらきらと輝く横顔を紹介する。

## レストランを開店し 滞日外国人女性に働く場を提供

### 今

年7月、神戸元町にレストラン「神戸アジアン食堂パルSALA」を開いた。中国やタイ、フィリピンなどから来て神戸市内に住む外国人女性が作る母国の料理を提供し、彼女たちの就労支援を行っている。

出身の人間福祉学部では日本の抱える社会問題について考えることが多く、滞日外国人たちが社会とのつながりを持って苦勞していることを知った。1年生の時、フィールドワークで知り合った4人の滞日外国人女性たちが作る料理を提供する屋台を学内で開いた。その後も卒業まで、屋台のほかケータリング、週1回のカフェなど活動の幅を広げた。

しかし、「4年間で支援できたのは

4人だけだった」と思いが募り、卒業後も活動を続けていくことを決意。すぐにもレストランを開きたい気持ちは強かったが、家族や支援者らに相談した結果、いったん就職することにした。リクルート社で3年間、飲食店の企画営業を行い、効果的なメニューの作り方や広報の仕方を勉強。今年、念願のオープンへとたどり着いた。

現在、店では8人の滞日外国人女性が働く。「将来的には、店舗を増やして彼女たちにも店長を務めてもらいたい。通販も始めて、さらなる雇用につなげたい」と意欲的だ。店内のクッションや壁の絵はフィリピンのNGO団体が作ったり描いたりした作品。かわい

### 黒田 尚子さん

2012年  
人間福祉学部卒



神戸アジアン食堂  
パルSALA



## 海外インターンシップを通じ 質の高い経験を提供



鷺岡 咲さん  
法学部2年生

126の国と地域で約7万人が活動し、海外インターンシップ

を運営する国際的學生団体「アイセック」の関西学院大学委員会が送り出し、事務局を務め、學生を海外インターンシップへ送り出すための活動に力を入れている。

インターンシップに参加する學生獲得に向けたプロモーション活動を統括する以外にも、参加する學生のサポートを行うマネージャーの育成・管理、必要書類の作成なども行う。

これまでアイセックが提供してきたインターンシップは、行きたい国を自由に選び、現地での活動も参加者たちが決めるというものだった。しかし、事

前研修や現地の活動の質をより高めるため、今秋からは行く国と活動内容がある程度決まったインターンシップの提供を開始する。「今までとは違う形なので不安はあるが、これまでのインターンシップや他のプログラムから得る経験よりも、さらに質の高い経験を提供できると思っています」と話す。

「一人でも多くの人にアイセックのインターンシップに参加してもらいたい」と常に考えているのは、提供しているインターンシップの可能性と価値を理解しているからだ。「まずは多くの人に海外インターンシップについて興味を持ってほしい。そのためには、この秋のプロモーション活動を成功させた」と意気込みを語った。

## ひと人ひと

## 劇団を旗揚げし舞台に立つ 1年1作を目標に戯曲も

「ミゼット呼ばないで」または、本を飛び出したジャン・バルジャンの華麗な冒険」という戯曲を執筆、9月30日から10月2日に自身が代表を務める演劇ユニットチーム銀河で上演、自らも出演した。

関西学院高等部出身、進学した京都大学1年生の時、学園祭で何か面白いことがしたいと演劇喫茶を開いたのが演劇を始めたきっかけだった。当時、劇団には所属していなかったが、照明や音響装置を京大西部講堂にあった学生劇団「風波」に借りて上演した。そのつながりから2年生で同劇団へ入部。関西学院大学の大学院に入っても修士課程を修了するまで演劇を続けた。その後しばらく演劇から離れる

が、関西学院大学で教員になり、演劇に取り組みむゼミ生とのつながりから、2012年に兵庫県立ビジュアル演劇学校の本科へ入学。作品を作り始めたのもこのころで、「他の人の作品を演じてナンバワンにはなれない。それなら自分の作品でオンリーワンになりたいと思ったから」という。「若い人たちと芝居ができるのが本当に楽しかった」そう、体が続くまで芝居を続けたいと、2014年にチーム銀河を結成した。執筆に関して、「日常の思いつきや、自分がやりたいと思ったことを大切にしている」と話す。今回の作品も、以前からやりたかった設定を形にしたものだ。「できれば1年に1作。書けなくなると書き続けたい」と語る。

東浦 弘樹さん  
文学部教授



劇団ユニット・チーム銀河





## 社会学部 大岡栄美ゼミ

# コミュニティに影響を与える 「資源」となり得る人間関係の構造を解明

人間関係が個人やコミュニティにどう影響を与えているのかを「ソーシャルキャピタル」というキーワードを手掛かりに研究しています。人と人とのつながりの希薄さを表す「無縁社会」という言葉がありました。2011年の東日本大震災後、日本社会は人と人との絆を強く求めるようになりました。一方、フェイスブックなどのSNSが普及し、意識的に人とつながることができ、それを視覚的にも確認できるようになっています。しかし、ただつながっていいばかりではなく、どのような構造の人間関係であれば「資源」となり得るかを解明したいと思っています。

例えば、移民に対して排外的感情を抱きやすい人もいれば寛容的に受け入れやすい人もいます。これは単に年齢や学歴などの個人の属性だけでなく、個人を取り巻く人間関係、ソーシャルネットワークの違いにも影響を受けます。同性や同世代など同質のコミュニティにいる人とそうでない人では、異なるものに対する耐性に違いがあることが

分かっています。

現在は、よりコミュニティに焦点を当て、学生と共に西宮市の卸売市場や鳴尾東の高齢者の居場所としてのコミュニティカフェ等をフィールドに研究しています。結束型や地縁型とされるコミュニティは人のつながりの密度が高く、治安も良く、安心して過ごせる場になりやすい半面、変化や変革に対応できず、活性化しにくいという面があります。各



大岡 栄美 准教授

地域の歴史的な背景を考慮しながら、学生団体やNPO、市役所など、新たな地域アクターが紡ぎだす、より開かれた、異質性の高い橋渡し型連結型のネットワークの意義についても明らかにすることに、大変関心があります。私自身は今、2歳の息子の子育て真っ最中です。さらに今後は、西宮市の子育て世代の暮らしやすさについても研究していく予定です。

## 地域住民の交流拠点づくりに取り組む



飯田 眞子さん  
社会学部3年生

「鳴尾東つながるプロジェクト」「卸売市場のあるまち・西宮プロジェクト」の2つの調査チームがあり、私は鳴尾東のプロジェクトに所属。地域資源を活用して、地域に住む人々のつながりが生まれるきっかけとなるような場所をつくることを目標に研究に取り組んでいます。現在は、清掃活動や夕食会などに地域の人と一緒に参加しながら、課題やニーズを聞き出す調査を進めています。そうして聞き出した課題をゼミに持ち帰り、話し合つて解決案を出していきます。幅広い世代の多くの人が交流できるような拠点をつくりたいと考えています。

大岡先生は厳しきの中に愛がある先生です。先生の雰囲気引かれてゼミに入りました。大岡ゼミとは、先生がよく口にされる「愛のある批評」を通じて互いが成長できるゼミだと思っています。



理工学部物理学科  
松浦周二研究室

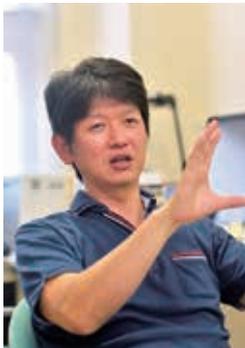
## 宇宙初期の謎を解明するため ロケットに搭載する観測器を開発

### 宇

宙初期に存在している星の光を観測する研究をしています。全ての物事に始まりがあるように、138億年前にビッグバンから誕生したと考えられている宇宙にも、最初に輝いた星があります。最初に生まれた星やブラックホールは紫外線で輝いてたと考えられ、宇宙空間を伝わるその紫外線の波が宇宙の拡大とともに伸びたことで、現在はその輝きを赤外線として観測されるときみなされています。私はこの赤外線を観測することで、初期の宇宙の謎を探求しています。

しかし、地上から赤外線を観測することはできません。そこで私たちの研究室ではロケットに搭載するための観測器を開発しています。現在は関西学院大学だけではなく、主に米国カリフォルニア工科大学を中心とした研究者や学生たちと一緒に観測器を開発中です。また、韓国宇宙天文学研究所（KASI）と国立台湾大学付

置の天文学研究所（ASIAA）の研究者たちの協力も得ながら国際的なプロジェクトとして研究を進めています。2017年ごろの完成を目指し、アメリカ航空宇宙局（NASA）から打ち上げるロケットに搭載します。



松浦 周二 教授

た。研究室を持ち自分の研究を後進に伝える現在の環境に喜びを感じています。一般的な天文学は既製の望遠鏡を使って観測しますが、私の研究室では望遠鏡（観測器）をつくることからスタートします。学生たちと一緒に自分たちが開発した望遠鏡で宇宙初期の謎に挑んでいきたいと思っています。

私は宇宙航空研究開発機構（JAXA）から昨年4月、関西学院大学理工学部に着任しました。

## 天文学分野最高峰の研究者や学生と共同研究



児島 智哉さん  
理工学研究科M1年生

松浦研究室ではCIBER2（Cosmic Infrared Background Experiment）というロケット実験のプロジェクトを進めています。ロケットに望遠鏡を搭載し宇宙を観測するものです。私はこのCIBER2の構造をコンピューターを使って設計しています。

このプロジェクトを国内外の研究者や学生たちと一緒に進める中で、週1回、カリフォルニア工科大学の教授や学生とWeb会議をしています。天文学分野の最高峰である同大の研究者や大学院生らと英語で語り合っことは、英語力、研究力を高めなくてはならないので大変ですが、同じ目標に向かう同志であることに刺激を受け、向学心にもつながるの非常に良い経験となっています。この経験ができるのも松浦研究室の醍醐味。今後も宇宙という未知の世界を少しでも解明できるように、先生たちと力を合わせて研究に進みます。

このコーナーでは、KGB 総部放送局が記事と映像で、部活動に励む関学生のイキイキとした姿をお届けします！



**突撃!**  
**KG CLUB**  
*by KGB*

## （ 体育会 航空部 ）

関西学院大学で空をフィールドとする唯一の団体、航空部。グライダーと呼ばれるエンジンのついていない飛行機に乗って空を飛ぶ競技です。大会では、決められたポイントをどれだけ速く進めるかを競います。現在の航空部では国家資格である自家用操縦士を取得している部員が6人と過去最多！全国大会に出場するという本年度の目標を胸に、日々練習に励んでいます。

### 🎬 取材レポート

航空部が活動する岐阜県の滑空場と神戸三田キャンパスにて密着取材しました。飛行中、離着陸時のグライダーや主将のインタビューを映像に収めています。迫力満点の映像をぜひチェックしてみてください。

📺 動画もCHECK!

↓映像はこちらから



**練習日**  
不定期

**部員数**  
26人

**活動場所**  
西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、岐阜県滑空場、福井空港





3つの大切なコト

- ◎安全確認
- ◎あいさつ
- ◎感謝の気持ち

インタビュー

主将 堤 涼太さん (商学部3年生)

Q.空を飛んでいるときの気分は？

空を独り占めしたような気分になります。岐阜の滑空場で飛んでいるときは、上空から名古屋を見ることができ、きれいな景色を味わうことができました。大学の部活動では航空部にしかできない経験なので、それも魅力の一つです。

Q.部の雰囲気は？

普段は仲良く、練習になると厳しくといったメリハリのある雰囲気づくりを心がけています。



グライダーを飛ばすことができるのは、いろんな人の支えがあってこそ。一見個人の競技に見えますが、他大学やOB、OGとも協力をし合っています。

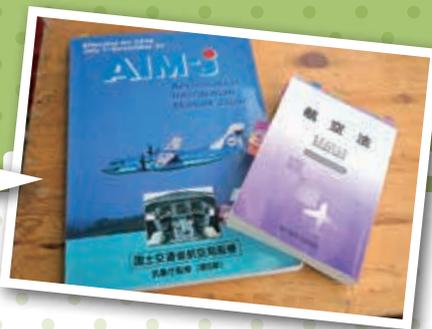


KGB総部放送局

関西学院大学で唯一の放送団体。アナウンス、ドラマ、技術、制作、報道の5パートに分かれ、昼休みの放送、番組制作、イベント音響などさまざまな活動を行っています！興味のある人はTwitter、ホームページをご覧ください！

HP→<http://www.everyday-kgb.com>  
 Facebook→<https://m.facebook.com/KGBbroadcast>  
 Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>

実技だけではなく、気象やグライダーの仕組みについて勉強することも活動の一つ。安全に飛ぶためにはよく学ぶことも大切です。



## 観光振興の 研究に尽力 貴重な経験を 新たなスタートに

昨年9月末から今年2月までの約5か月間、モンゴルのウランバートル市にあるInternational Think Tank for Landlocked Developing Countriesで国連ユースボランティアとして活動しました。この機関は世界初の内陸開発途上国のためのシンクタンクで、モンゴルを中心として世界に32カ国ある内陸開発途上国への研究ベースの貢献を目的としたものです。



↑ International Volunteer Day イベントにて現地NGO職員と(右が小山さん)

↑ 派遣されたシンクタンクのチームと(左から2番目が小山さん)

私が現地の業務で最も尽力したのは、観光振興のための研究です。モンゴルには、大草原や遊牧など観光地としての魅力がたくさんありながら、その有益性はあまり注目されていません。内陸国であるからこそ観光業に着目すべきだと考えた私は、現状を把握するため、文献に基づいた分析を重ねた後、省庁やJICAなど観光業に携わる方にインタビューをしました。すると、モンゴルでは旅行に関わる企業と政府の連携が十分でないことが分かってきました。例えば、遊牧が魅力の一つでありながら、けがやトラブルが発生したときの対応が不十分なことなどです。そんな安心できない状況を踏まえ、政府と企業との連携や、政府の観光に関する政策の整備の必要性を論文にまとめて強く訴えました。実際にモンゴルの観光業に影響を与えるかどうかは分かりませんが、モンゴルをはじめとする開発途上国の今後に少しでも貢献したいという思いで書き上げました。

今回の活動を通して、日本や世界情勢についての知識が自分に不足していることを痛感しました。しかし、2年生でこのような貴重な経験ができたことは私にとって大きなプラスとなりました。これを新たなスタートにして今後の活動に取り組んでいきたいと思っています。



ユーラシア大陸

国連ユースボランティア  
派遣員  
小山 由真さん 国際学部3年生  
▼モンゴル



# My favorite KG

パホモウス ドミトリス  
Pahomovs Dmitrijs さん  
(ラトビア大学 交換留学生)  
ラトビア出身



## できるだけ多くの つながりを 日本でつくりたい

↓ 旅先にて



### — 関西学院大学に 留学を決めた理由は。

3年ほど前に大江健三郎や村上龍の小説を読んだことで日本に興味を持ち、日本へ旅行にきました。実際に来たことで日本への興味がさらに増し、留学したいと思うようになりました。もともと関西に興味があり、関学に留学をしたことがある友人からは「先生の授業も丁寧で、神戸や大阪へのアクセスも良い」と聞いていたため、関学への留学を決めました。実際、授業もすごく充実していて多くのことを学べますし、景色もきれいで来てよかったと思います。

### — 旅行が好きと聞きました。

夏休みに広島や九州へ旅行しました。広島では以前から興味があった原爆ドームを見学し、福岡では大好きなラーメンを屋台で食べました。九州から兵庫へは、ヒッチハイクで帰ってきましたが、どの運転手の方にも優しくしてもらい、飲み物やお菓子を頂きました。また、移動中の会話は日本語の練習にもなり、とても良い経験になりました。

### — 日本のどんなところが 面白いですか。

ラーメンを食べる時に音を立てるのは面白いと思います。私の国でもそうですが、ほとんどの国では音を立てて食事をするのは失礼なことです。日本人が音を立ててラーメンを食べることは、本で読んだので知っていましたが、想像以上の音の大きさに驚きました。でも、この食べ方は、麺と空気を一緒に吸い込み、熱さを感じなくなるのでとても理にかなっていると思いますし、これがラーメンの楽しみ方だと思って今では私も音を立てて食べています。

### — 今後の目標を聞かせてください。

関学を卒業したらラトビア大学に戻るのですが、それまでに日本でできるだけ多くのつながりをつくりたいです。ラトビア大学を卒業したら、自分の会社を立ち上げたいと考えています。世界には独特の文化や職人の技があります。それを世界中の人が学ぶことができる機会を提供する会社をつくりたいと思っています。

### — 好きな日本語を教えてください。

「仕方ない」です。授業で先生が教えてくれました。「仕方ない」には、「自分ではどうしようもない」だから、それを受け入れて、後はリラックスして楽しもう」というとてもポジティブな意味があると思います。私はこういう考え方をするのが好きで、どうしようもないことが起こったときは「仕方ない」とよく言っています。



# 数字でみる 関学

今回は、関西学院大学のSNSについて、過去1年間の数字を調べました！今、注目のLinkedIn、新登場のInstagramについても紹介します。

## 関西学院大学SNS あれこれ

※数字は2016年9月1日現在のものです。



### Facebook

関西学院大学にまつわるニュースや、キャンパス風景などを紹介！

日本語版

ページ  
いいね数 **48,474**

最多  
いいね数 **5,160** (2015年12月1日  
クリスマスツリー  
点灯式を開催)

ページ  
いいね数 **54,879**

最多  
いいね数 **210** (2015年4月6日  
cherry blossoms)

英語版

留学生の友達に  
教えてあげよう！



### YouTube



先生の研究や学生の活動の様子を動画で紹介！

チャンネル  
登録数 **1,153**      動画数 **637**



### Twitter

関西学院大学の情報がすぐ分かる！



フォロワー  
数 **15,159**      最多  
リツイート **33** (2016年1月26日  
高等部ブリーククラブ  
初の混声演奏)



### LinkedIn

同窓生とつながって、  
新たなビジネス機会を生み出そう！



関西学院大学  
登録者数 **4,343**



20ページに  
詳細あり！

### Instagram

キャンパス風景など  
関西学院大学の日常を写真で紹介！



フォロワー  
数

**422**

最多  
いいね数獲得

**66**

(2016年8月23日  
Japanese Garden)



Instagramが新登場！  
フォローしよう！

## 陸上競技部が66年ぶりの快挙 西日本インカレ男子総合優勝

「第69回西日本学生陸上競技対校選手権大会」の最終日が7月3日、京都市の西京極総合運動公園陸上競技場であり、関西学院大学陸上競技部が66年ぶりの男子総合優勝を達成しました。



十種競技で優勝した主将の下司剛久さん(商学部4年生)は「総合優勝するため、全員が本気で取り組んだ結果だと思います。選手の活躍も応援も本当に良かったです。今年は関西インカレや駅伝の予選な

どで確実に目標を達成しているので、今後もチーム一丸で努力していきます」と話しました。

また、9月に開かれた全日本インカレ(日本学生陸上競技対校選手権大会)では14点を獲得し総合15位となりました。

## アメフト部がメキシコ遠征 日墨交流戦でUNAM PUMASに勝利



関西学院大学アメリカンフットボール部は6月21日から27日まで、創部75周年記念事業としてメキシコ遠征を行いました。

今回の遠征は、400年以上の歴史と学生数約30万人の規模を誇る中南米屈指の名門校、メキシコ国立自治大学(UNAM)のフットボールチーム(PUMAS)からの招へいにより実現。UNAM PUMASとの試合は、日墨交

流戦「International College Bowl」として25日にメキシコシティのエスタディオ・オリンピック・ユニベルシタリオで行われ、関西学院大学が17-13で勝利しました。MVPにはWRの亀山暉選手(国際学部3年生)が選出されました。

また、メキシコ滞在中は、リセオ日本メキシコ学院の小中学生やUNAMの小学生フットボールチームの選手たちと交流などを行いました。

## 西脇市新庁舎の在り方を 総合政策学部生が市長らに提案

総合政策学部生が7月9日、兵庫県西脇市の複合施設「みらいえ」で西脇市の新庁舎の在り方について研究成果発表会を行いました。



同発表会は、関西学院大学と西脇市との包括連携協定で実施している授業「都市財政論」(担当:長峯純一・総合政策学部教授、客野尚志・同学部教授)の一環です。西脇市は市庁舎を新築整備する予定で、学生たちは西脇市でのフィールドワークを取り入れながら、まちづくりと地域振興、住民参加、行政サービス改善などの視点から、市庁舎建て替えのあるべき姿という課題に取り組みます。

受講している学生11人が3グループに分かれて発表。「高校生を中心とする若

者が行政に参画するための空間と仕組みづくりを進める」「西脇市の賑わいの中心としての市役所を機能させるため、特に食と地場産業に注目する」「健康都市構想を実現するために市庁舎にウォーキングコースや健康に着目した食堂等を設置する」など、それぞれの視点で望ましい市庁舎の在り方を提案しました。会場には片山象三市長をはじめ西脇市の関係者、高校生、関学同窓会西脇支部のメンバーも参加し、学生の提案に対しさまざまな意見や激励が飛び交いました。

## 熊本地震の被災地で 関学生ら23人がボランティア

関西学院大学の学生が7月1日から4日まで、熊本地震の被災地でボランティア活動を行いました。参加したのは有志学生20人と教職員3人。関西学院大学ヒューマン・サービス支援室が「第1回熊本地震現地ボランティア」として実施したものです。

現地には2日に到着。被害の大きい益城町を中心に、避難所での引っ越しの手伝いや足湯の設置などを展開し



ました。また活動中は被災者の方に寄り添うため、世間話をしたり、不安や悩みを聞いたり積極的に交流も深めました。

同ボランティアは今後も継続していく予定です。



## リオ五輪棒高跳び代表 荻田大樹選手が村田学長を訪問

リオデジャネイロ・オリンピック男子棒高跳び代表の荻田大樹選手(ミズノ所属、2010年商学部卒)が7月12日、村田治学長を訪問しました。



また16日には、関西学院大学、関西学院同窓会、関西学院大学体育会同窓倶楽部の共催により開かれた壮行プログラムに出席し、「4年前、ロンドン五輪に出場できなかった悔しさから、この4年間は死にもの狂いで努力しました。国際大会も経験し、大きく成長できました。五輪出場が

決まり、日々お世話になっている方や応援していただいている方に恩返しできたいと思います。リオ五輪では、関西体育会のモットー“Noble Stubbornness”(高貴なる粘り)を胸に、入賞を目指します」などと抱負を語りました。

## リオ五輪7人制ラグビー代表 徳永祥亮選手を後輩部員が激励



リオデジャネイロ・オリンピックの7人制ラグビー男子日本代表の徳永祥亮選手(東芝所属、2011年高等部卒、2015年関西学院大学商学部卒)が7月28日、西宮上ヶ原キャンパスに来校しました。

ラグビー部の練習場である第2フィールドには、高等部と大学のラグビー部員約100人が集まり、徳永選手を激励。高等部のラグビー部からは、腕時計と部員の名前入りのTシャツが贈られました。エールを受けた

徳永選手は「代表に選ばれたことは自分でも驚いている。人生何があるか分からない。この先も真面目に頑張っていきたいし、みんなも真面目にラグビーに取り組んでほしい」と後輩にメッセージを送りました。

徳永選手は、激励会前に枝川豊・高等部長を、激励会後には村田治学長を訪ね、「15人制は歴史を変えた。次は7人制の番だと思っています。メダル獲得が目標です」と抱負を話しました。

## LinkedIn

### 就職活動やキャリア設計、仕事に活躍！ ビジネス特化型SNS！

#### LinkedInって？

LinkedInとは、4億人以上のビジネスパーソンが利用している世界最大級のビジネス特化型SNSです。プライベートなコミュニケーションを目的とする他のSNSとは違い、自分のスキルやキャリアをプロフィールに記載することで、ビジネスにおけるつながりを生み出します。

#### LinkedInでできること

関西学院大学のカレッジページにいけば、関学大出身者が動く企業が一目で分かり、実際にその企業で働く先輩とつながることが出来ます。それによって、就職活動でのOB訪問や、社会人になってからの営業、取材、人材発掘などがスムーズに行えます。その他にも学生の活躍や研究成果、イベント、ニュースなどの情報が発信されています。

#### こんな人におすすめ

- ① ビジネスに興味がある
- ② 就職活動で志望する企業で働く卒業生を探している
- ③ 同級生、先輩、後輩を探している
- ④ 留学生や過去に留学していた外国人とつながりたい



※ 関西学院大学のカレッジページを見るにはLinkedInへの登録が必要です。

## 海外留学予定学生らを対象に 危機管理研修を実施

バン格拉デシュでの邦人殺害事件(7月1日)など、海外でテロや凶悪犯罪が多発していることを受け、関西学院大学国際教育・協力センターは7月28、29の両日、西宮上ヶ原キャンパスと神戸三田キャンパスで、海外留学プログラムで海外に出かける学生を対象にした危機管理研修を実施しました。

「テロ等の予期せぬ事態及び犯罪に備えて」をテーマに、元警察庁国際緊急援助隊隊長でPKOカンボジア暫定機構の文民警官などの経験がある出宮良平氏が、実際に銃を向けられた際など突発事態時の



対応、日本人として持っておくべき認識などを自身の経験も交えて説明しました。

対象となったのは、短期外国語研修、中期留学、交換留学、学部主催プログラムなどに夏季休暇、秋学期に参加を予定する学生約700人。西宮上ヶ原キャンパスでは約350人、神戸三田キャンパスでは約100人が聴き入りました。



## 関西学院大学が代表大学として 取り組む事業計画が 文科省の大学入学者 選抜改革推進委託事業に選定

関西学院大学が代表大学となり他7大学と連携して取り組む事業計画が、大学入学者選抜改革推進委託事業委員会における所要の審査の結果、平成28年度文部科学省大学入学者選抜改革推進委託事業に選定されました。

選定された事業は、文科省が大学入学者選抜に関する専門的・実証的な研究能力を有する機関に委託して、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性等分野)」について、各大学における大学入学者選抜改革を進める上での具体的な課題や問題点を整理するとともに、特に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する多面的・総合的な評価を行うための実践的で具体的な評価手法を構築し、その成果を全国の大学に普及することにより、各大学の入学者選抜改革を推進するものです。

今後、所定の手続きを行った上、文科省と契約を締結する予定です。

### 事業名

各大学の入学者選抜改革における課題の調査分析及び分析結果をふまえた改革の促進方策に関する調査研究と「主体性等」をより適切に評価する面接や書類審査等 教科・科目によらない評価手法の調査研究

### 代表大学

関西学院大学

### 連携大学

大阪大学、大阪教育大学、神戸大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、関西大学

## 高校生対象に世界市民明石塾 世界の現状や地球の未来を考える

関西学院大学は8月8日から3日間、国際公共分野で活躍するグローバルリーダーの育成を目的に、明石康・元国連事務次長を塾長に迎えて高校生対象の「関西学院世界市民明石塾」を開講しました。2泊3日の合宿形式で、高校生たちは現役の国連職員や国際機関で活躍してきた実務家教員の話や聞き、英語でのグループディスカッションに取り組むなど活発に意見を交換しました。

2日目以降は会場を関西学院千刈キャンパスに移し、全て英語による講義やグループワーク、ディスカッションを実施。大



学生・留学生サポーターも、高校生のワークや議論をサポートしました。最終日には長期的な視点に立って人生の目標設定をし、互いに発表し合いました。3日間のプログラムを終えた参加者たちは、世界の現状や地球の未来を考えるを通して、さらなる自己成長と国際貢献へ思いを新たにしていました。

## 文科省の官民協働海外留学支援制度 第5期生に関学生7人が合格

文部科学省が実施している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム～」の第5期生に関西学院大学から7人が選ばれました。

このプログラムは、グローバル人材育成を目的に2014年度から始まり、支援企業・団体からの支援や寄附を基に、官民が連携して学生の留学を支援するもの。2020年度までの7年間で約1万人



の高校生、大学生を同プログラムの派遣留学生として海外に送り出す計画で、派遣される学生には奨学金が与えられるほか、事前・事後研修なども実施されます。

## 関学カプセル...31



「(吉岡) 関西学院の由来」  
『関西学院新聞』二四号、吉岡(吉岡) 蘭バス先生の「新星」(第五号)

世界市民を育むグローバルスクールとしての関西学院、その思いは校名の決定のときから強く意識されていたようだ。

「(吉岡) 関西学院の由来」  
『関西学院新聞』二四号、吉岡(吉岡) 蘭バス先生の「新星」(第五号)

「(吉岡) 関西学院の由来」  
『関西学院新聞』二四号、吉岡(吉岡) 蘭バス先生の「新星」(第五号)

## 校名

関西学院の「校名」は、第2代院長吉岡(吉岡) 蘭の回想によると、1889年夏、新しい学校開設を目前にして、初代院長ランバスと吉岡との相談の中で決まったという。

強い思い

グローバルスクールへの

## 教育学部生の通学ボランティアに 小学生が感謝の会を開催



教育学部生が毎朝、西宮市立上ヶ原小学校の子どものために行っている登校時の安全確保と見送りのボランティアに対して、上ヶ原小学校の児童らによる感謝の会が7月13日、西宮聖和キャンパスで開かれました。

感謝の会では、児童の代表が「いつも私たちの安全を守ってくれて、また一緒に遊んでくれてありがとうございます。夏休み明けからも元気にあいさつします」などと感謝を伝え、お礼のメッセージカードを学生らに渡しました。

同ボランティア活動は2001年6月8日に発生した大阪教

育大学附属池田小学校児童殺傷事件に衝撃を受けた藤木大三・教育学部教授が、聖和大学(当時、09年に関西学院と合併)教育学部の学生たちに呼びかけ、事件から1カ月後にスタート。新たに入學してきた学生に受け継がれ、関西学院大学教育学部となっても途切れず15年以上続いています。

現在は藤木教授や学生たちの熱心な活動を見た地域の老人会やボランティアの皆さんにも参加いただき、地域社会活動へと広がりを見せ、世代を超えた交流も生まれています。

## KG★グルメ

東京庵(西宮上ヶ原キャンパス)

キーマカレー

アツアツのご飯とカレー、その上にトッピングされた生卵。ボリューム満点のメニューが並ぶ東京庵の「キーマカレー(510円)」は、見ておいしい、食べてもっとおいしい一品です。

カレーの深い辛みと卵の甘みの相性は抜群で、一度食べたらもう止まりません。授業や部活で疲れた体にもガツンと元気を与えてくれるでしょう。今日のランチはこれで決まり!卵なしは480円。



## ランバス演奏会で ハーバード大学の学生らが演奏

「第204回ランバス演奏会」が7月4日、西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂で開かれ、ハーバード大学の現役学生たちから成るアカペラグループ、THE HARVARD DIN & TONICS が演奏を披露しました。

THE HARVARD DIN & TONICSは1979年の創設以来、厳しいオーディションで選ばれた学生によって代々引き継がれ、テレビや映画への出演、メジャーリーグなどの大

きなスポーツ大会でのステージパフォーマンスも経験してきた伝統ある実力派グループです。

当日、急きょ決定した関西学院グリークラブとのコラボ演奏では「花は咲く」を披露し、美しく力強い歌声が礼拝堂に響き渡りました。他にも、アラジンでおなじみの「A Whole New World」など計14曲を披露。会場には120人以上が詰めかけ、演奏が終わるたびに大きな拍手が送られました。



## 庭球部女子が2年ぶり関西制覇 打倒関東へ意欲

「平成28年度関西大学対抗テニスリーグ戦最終戦」が9月11日、大阪・吹田市の江坂テニスセンターで開催され、庭球部女子が3勝2敗で園田女子大学に勝利し、2年ぶりの関西制覇を達成しました。

団体戦は、ダブルス(D)2試合とシングルス(S)3試合の結果で競います。関西学院大学は、最初のDを落としましたが、続くDで勝ち星を挙げ勢いに乗ります。Sでは2勝1敗とし勝利を確定させました。

主将の伊藤遥さん(教育学部4年生)は「部員一人ひとり



が高い意識で練習してきたので、苦しい時も全員で頑張りました。身体トレーニングも増やし、体力や脚力の強化も勝利につながったと思います。全員が各々の役割を果たして手に入れた優勝なので本当にうれしかったです。10月の全国大会では「打倒関東!」で日本一を目指します」と意気込みました。

学院通信

関西学院高等部のグリークラブが、クラブ史上初めて混声としてコンクールに出場し、8月19日に兵庫県立芸術文化センターで開かれた「兵庫県合唱コンクール」高等学校部門・Bグループ(33名以上による合唱)で金賞、その後、同会場で9月11日に開かれた「関西合唱コンクール」同部門・同グループで銀賞を受賞しました。

同グリークラブは1948年に創部後、1956年から2年連続で全国優勝、2000年以降も3回の全国大会出場を果たすなど実績と伝統のあるクラブです。創部以来67年間、男声合唱として活動してきましたが、昨年度からの共学化に伴い、女子部員も多数入部。同声合唱を大切にしながらも、本年度より本格的に混声合唱に取り組んできました。

同声と混声では音の作り方が大きく変わることで、自由曲の「鬼女」が能をテーマにした曲であったことから、声の作り方や、能のストーリーを理解し曲の雰囲気を作り出すために能の映像を見るなど工夫を重ねました。

関西学院高等部グリークラブが  
創部初の混声で関西銀賞



今回のコンクールについて、部長を務める徳島良亮さん(3年生)は、「これまでの経験を生かせる男声合唱とは違い、混声合唱は一からのスタートで、本当に苦労しました。練習はもちろんですが、話し合いを何度も重ね、みんなの思いを一つにできたことが今回の結果につながったと思います」と話しました。

成長するASEANを学ぶ  
プログラム開講



ASEAN(東南アジア諸国連合)各国の経済や社会を学ぶ集中セミナー「ASEANプロジェクトプログラムA」が8月3日から9日まで、西宮上ヶ原キャンパスで開催されました。関西学院大学の学生のほか、大阪大学、インドネシアやマレーシアの学生に高校生も加わり、46人が参加しました。

関西学院大学と提携しているASEANの4大学(マレーシアのマラヤ大学、インドネシアのパジャジャラン大学、タイのアサンブション大学、ベトナムのベトナム商業大学)や在阪ASEAN各国総領事館か

ら講師を招き、各国の実情をさまざまな角度から学びました。講義は全て英語で行われ、最終日には学生たちが各グループに分かれて「ASEANと日本のコラボレーション」というメインテーマに基づき、トピックを選び英語で発表を行いました。

8月31日からは、学生がASEAN4カ国を訪問し、大学との交流や現地企業・工場見学などをする「ASEANプロジェクトプログラムB」が2週間行われました。両プログラムに参加した学生が将来、ASEAN諸国との懸け橋となることが期待されます。

読者アンケート&プレゼント

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で5名様に音楽バンド「キューソネコカミのヨコタシンノスケさんとヤマサキセイヤさんのサイン入り色紙1枚」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2016年12月16日(金)。当選は発送をもってかえさせていただきます。



スマートフォン



パソコン URL ↓

<http://www.kwansei.ac.jp/r/kgjournal/>

関学ジャーナルへのご意見・ご感想はWEBでも受け付けています。▶関学ジャーナルご意見・ご感想フォーム URL→<http://www.kwansei.ac.jp/form/kgjm.html>



# 世界の街角から

Federal Republic of Germany

デュッセルドルフ日本人学校

ドイツ語講師

島田 佐知さん

(1997年文学研究科博士課程  
前期課程修了、2001年同後期課程退学)



↓日本人学校でドイツ語を教える島田さん



## 日本人学校の子どもたちと ドイツとの橋渡し役に

悠々と流れるライン川に開放的で洗練された感のある商業都市です。ヨーロッパにおける日本企業の一拠点でもあります。

この街に暮らし始めて15年が経ちます。関西学院大学博士課程在学中にロータリー財団奨学生として、ドイツ南部にあるテュービンゲン大学に2年間留学しました。

その後、留学中に知り合った夫がデュッセルドルフで仕事を果たすことにより、私のデュッセルドルフでの生活が始まりました。2人の子どもを出産し、子育てをしてきました。異文化の中での子育ては、何もかもが未知の体験であり、ドイツ人との価値観の違いや自己表現の違いに驚き、悩むこともしばしばです。それでもそうした悩みが、自分を固定観念から解放するきっかけになったりもします。

2014年からは日本人学校の小・中学部にドイツ語を教えています。ドイツ人が上級コースを、私が初級コースを担当しています。ドイツ語の授業は、ともすれば難しく退屈になりがちです。そんなとき、ドイツ文学科で学んだ文学の話や、ゼミの教授が情熱を持って教えてくださったドイツ音楽のことなど

を、お話しします。すると子どもたちは、突如いきいきとした眼差しで私の話に関心を傾けてくれます。そのように子どもたちがドイツ文化に関心を持ってくれるよう、そして少しでもドイツに溶け込んでゆけるよう、その橋渡し役になれることを願いながら仕事をしていきます。

皆さんも、関西学院大学での語学を学ぶ恵まれた環境を積極的に利用し、食欲に学んでください。そしてできるなら海外に出て勉強をしてください。異文化に触れることは、きつと自らの価値観や可能性を押し広げてくれることだと思います。



↑デュッセルドルフの街並み

### 協定校紹介

Federal Republic of Germany

デュッセルドルフ大学 Heinrich Heine University Duesseldorf

ドイツの商工業中心地の一つデュッセルドルフに、1965年に設立された公立の総合大学。1907年設立の医学学校を前身とする医学部を中心に、人文学部、数学・自然科学学部、経済学部、法学部の5学部を擁し、現在約2万6,400人の学生が学んでいます。正式名称は、デュッセルドルフ出身の有名な詩人ハイネにちなんでつけられたハイネリヒ・ハイネ大学。ハイネの精神を受け継ぎ、知的自由、文化的多元主義、人種・宗教への寛容性、男女平等を掲げています。

比較的新しい大学ながら、魅力ある教育プログラムと研究活動で国際的に高い評価を獲得しています。関西学院大学は、同大学とドイツ語研修や教員交流を行ってきましたが、2014年に学術交流協定を正式に締結し、学生交換も活発に行われています。





大学図書館ホームページでは、WEBデータベースや図書館活用術など、幅広い情報を分かりやすく紹介しています。教職員の新刊情報も随時更新。「関西学院大学図書館」で検索！

大学図書館の旬な情報をお届け

Libraring

西宮上ヶ原キャンパス  
大学図書館



←神戸三田キャンパス  
図書メディア館

2016  
August

## 大学図書館の閲覧机が リニューアル！

より集中して勉強ができる個人用閲覧スペースの要望が多かったことを受けて、8月、西宮上ヶ原キャンパス大学図書館3階、神戸三田キャンパス図書メディア館4階の複数人向けの閲覧机に仕切りがつかまりました。

コンセントを設置し前面に仕切りをつけたものと、前面だけでなく左右にも仕切りがあるものの2タイプがあります。

読書や一人で静かに学習したい時に、ぜひ活用してください。

## 教職員の新刊

### 日本と国連

京都から世界平和を願って  
神余隆博学長直属教授著  
関西学院大学出版会

### 社会苦に挑む南アジアの仏教

関根康正社会学部教授共著  
関西学院大学出版会

### 自治体病院経営の基礎

石原俊彦経営戦略研究科教授共著  
関西学院大学出版会

### リーディングス刑事訴訟法

川崎英明司法研究科教授共編著、京明  
司法研究科准教授分担執筆  
法律文化社

### 現代アメリカ法入門

アメリカ法の考え方  
丸田隆司法研究科教授著  
日本評論社

### 英語スピーキング指導 ハンドブック

門田修平法学部教授共編著  
大修館書店

### オーストラリアの日本人 過去そして現在

長友淳国際学部准教授編著  
法律文化社

### 統治性

フーコーをめぐる批判的な出会い  
阿部潔社会学部教授共訳  
月曜社

### 歴史のなかの上ヶ原

西宮市上ヶ原、古墳から震災まで  
中村直人教育学部准教授著  
関西学院大学出版会

## なぜ、お客様は「そっち」を買いたくなるのか？



「なぜ、お客様はそっちを買いたくなるのか？」は、「どっちが売れる!?」「どっちが流行る!?」という2択問題から学んでいただける、マーケティングの入門本です。企業やお店の実際の事例と、外資系企業時代の実務経験からトコトン分かりやすく解説しています。「あ、こういう事例ってあるある」などと、楽しんで読んでもらえればと思います。



児玉洋典・経営戦略研究科准教授著 206ページ 実務教育出版

## 一番やさしい地方交付税の本

地方交付税という「税」を知っていますか？きっと「払ったことないなあ〜」と答えると思いますが。実は国家予算の6分の1を占め、自治体の施設の建設から介護保険、学校教員の給与などあらゆる分野に関係している重要な「税」なのです。新聞で年末に国家予算が発表されますね。そんなとき、国や自治体の財政に関心を寄せてみませんか。この本を読むと、地方交付税から一気に国や自治体の予算の仕組みまで理解でき、視野が開けます。



稲沢克祐・経営戦略研究科教授著 239ページ 学陽書房

初めに、神は天地を創造された。  
地は混沌であって、  
闇が深淵の面にあり、  
神の霊が水のおもてを動いていた。

創世記1章1-2節

混沌とした風景を目の当たりにしたことはありませんか？ 私は東日本大震災直後、津波の被害にあった地域でボランティアに携わりました。泥をかぶった車や家庭用品、誰の物かも分からない物が一面にころがっていました。それは混沌というほかない光景でした。

聖書はカオスから始まります。天地が創造される前はむなしくて、闇と隣り合わせの風景です。そこから神の物語は始まります。天地創造物語において神はまず天地に秩序を与えます。光と闇、天と地、陸と水を分け、そしてそこに住む生き物たちを造られます。ご自分が創造された全てのものを見て神は喜ばれました。それはきわめて良かったからです。思えば聖書は、混沌とした状況におかれた人たちの物語の連続です。旧約聖書には砂漠で試練に遭うイスラエルの民、新約聖書には十字架につけられたイエスがいます。その混沌とした経験こそ意味があるのです。神はその人の傍らにいて、そこから新たな希望の道が開かれるからです。

関西学院の歴史を振り返るときも、その混沌経験を忘れてはなりません。なぜならそこにこそ神の哀れみと力が現れたからです。現代において私たちが被災地に足を運んで混沌とした風景の前に立つにしても、また自らの混沌経験に向き合うにしても、決して希望を失ってはいけません。混沌から神の物語は始まるからです。

編集後記

「二兎追う者は一兎をも得ず」ということわざがあるが、ダブルチャレンジを活用する学生にこの言葉はあてはまらない。二つの分野に挑戦しているからこそその自信や深みを学生から感じた。二兎追う者にしか得られないものがある！(りよ)

関西学院大学 Facebook



いいね!

関西学院大学の身近なニュース、キャンパス風景、動画などを紹介。英語版ページもますます充実。「いいね!」をして関西学院大学の情報をゲットしよう。



日本語版

英語版



# LinkedIn

## LinkedInで世界に広がる 関西学院ネットワークに参加しよう

関西学院大学のカレッジページでは、研究、留学、クラブ活動、イベント情報など  
様々な情報を英語で発信しています。

またLinkedInの特性でもある検索を行えば、世界中で活躍する関西学院大学の出身者や  
在学生とつながりを作ることができます。

## Join the Kwansei Gakuin University community on LinkedIn!

The Kwansei Gakuin University Page is full of various information in English about research,  
study abroad, club activities and events.

You can also use the LinkedIn search tool to find and connect with KGU students  
and alumni all around the world.

Kwansei Gakuin  
University Page

